

株式会社IHIを訪問

JFUNU Study Tour 2026

国連大学協力会は、国連大学サステナビリティ高等研究所(UNU-IAS)大学院プログラムで学ぶ学生に、毎年日本文化への理解を深めてもらう機会や彼らを支援する皆さまと交流する機会を設けています。今号では、国連大学協力会賛助会員企業との交流(株式会社IHIとの交流会・豊田通商株式会社のクラシックコンサート)と大相撲初場所鑑賞会の様子をまとめてお届けします。

2026年1月8日、株式会社IHI様のお招きで、UNU-IAS大学院プログラムで学ぶ学生と同社社員の皆さまとの交流会が、東京都江東区豊洲にある株式会社IHI本社にて開催されました。当日は、同社の歴史やサステナビリティへの取り組み例(アンモニアバリューチェーン、航空機エンジン)についてのレクチャーを受けた後、IHI社員の皆さまとUNU-IAS大学院生が4つのグループに分かれ、それぞれの仕事の内容や研究分野を紹介しあいながら、サステナビリティをテーマに自由にディスカッションを行いました。さらに、同社の歩みや技術、製品を知ることができるi-museの見学やランチタイムを通じて、終始和やかな雰囲気の中で交流を深めることができました。

所属や立場を越えて率直に意見を交わすことで、新たな視点や気づきを得ることができ、今後の取組にもつながる有意義な時間となりました。実際の現場の取組や背景にある価値観に直接触れることで、単なる知識にとどまらない実践的な学びが生まれたことは、大学院生にとって貴重な体験になったように感じました。このような実りある交流の場をご提供いただきました株式会社IHIの皆さまに、心より御礼申し上げます。

学生たちの感想はこちら



最も印象に残ったのは、株式会社IHIが持つサステナビリティとイノベーションへの強いコミットメントです。特に、ESGの考え方が事業戦略や長期ビジョンにしっかりと組み込まれている点に感銘を受けました。



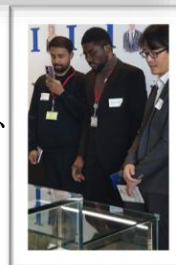
専門家との交流を通じて、二酸化炭素回収などの技術分野に対する理解を深めることができました。また、ガバナのエネルギー分野における自身の経験を共有する機会も得られました。このような知識の相互交換は非常に価値のあるものでした。



生産から利用、そしてクリーンエネルギーへの移行に至るまで、アンモニア・バリューチェーン全体を網羅した株式会社IHIの包括的な取り組みに感銘を受けました。

航空エンジン分野における持続可能性に向けた取り組みや技術の方向性について理解を深めることができました。

i-museの見学において、東京駅をどのように開発してきたのかを知ることができて、とてもよかったです。



国連大学協力会 賛助会員とは...

国連大学協力会では、ご支援いただく皆さまを「賛助会員」と呼び、皆さまからの寄付をもとに、国連大学本部および国連大学サステナビリティ高等研究所(UNU-IAS)の教育・研究活動を支援しています。

とりわけUNU-IAS大学院プログラムで学ぶ学生への奨学金助成に力を注いでいます。



募金趣意書
国連大学を支援するために

Experiencing the Power of Grand Sumo



大相撲初場所を観戦

2026年1月13日、東京・両国の国技館にて、UNU-IAS大学院プログラムで学ぶ学生向けに初めて「大相撲観戦会」を企画・開催しました。団体チケットの申し込み方法に先行抽選が導入される中、大人気の大相撲のチケットを幸運にも確保することができ、かねてより学生たちからの希望の多かった観戦機会を実現することができました。

この日は大相撲初場所3日目にあたり、17名の学生が参加しました。2階の椅子席からの観戦ではありましたが、取組の迫力や会場の熱気を十分に感じることができました。参加した学生の多くは、生で相撲を観戦するのが初めてで、大いに盛り上がりました。売店では、応援グッズとして人気の力士名入りタオルを記念に購入する学生の姿も見られ、それぞれが思い思いに観戦を楽しんでいました。観戦中は、「どちらが勝つか」と学生同士で予想を立て合い、勝負が決まるたびに歓声やガッツポーズが飛び出すなど、一番一番に夢中で見入っている様子が印象的でした。この日は、なかなか勝負がつかない白熱した取組も多く、会場全体に緊張感と高揚感が漂っていました。さらに、物言いの末に取り直しとなった取組が三番もあり、そのたびに大きなどよめきが起こるなど、会場は大いに沸き、学生たちも大興奮でした。

初の試みとなった大相撲観戦会でしたが、参加した学生たちにとって貴重な体験となり、日本の国技である相撲の魅力を身近に感じる良い機会となりました。



学生たちの感想

相撲は格闘技でありながら、文化や礼儀がしっかりと根付いていて、力士同士が互いに敬意を示しているところがとても素敵だと感じました。相撲そのものを実際に見られたのはとても良い経験になりました。

横綱のパフォーマンスがとても印象的で、いちばん見応えがありました。

とてもユニークな体験で、日本らしさを感じられるスポーツだと実感しました。



写真左上:満員御礼！ 写真左下:東京スカイツリーをバックに日本をイメージした思い思いのポーズング
写真中央:高安関のタオルと一緒に 写真右:こちらは横綱豊昇龍関のタオルとともに記念撮影



♪心弾むクラシックコンサート♪

豊田通商株式会社主催のコンサートにお招きいただきました

2026年4月29日、サントリーホールで開催された『クラシックコンサート-豊田通商株式会社感謝のつどい2026-』に、UNU-IAS大学院プログラムで学ぶ学生たちとともに参加しました。国連大学協力会の特別賛助会員として、学生たちの日本での修学を生活面から支援してくださっている豊田通商株式会社様より、学生のみならず関係事務職員も含めた総勢20名をご招待いただきました。

東京フィルハーモニー交響楽団によるチャイコフスキーの名曲が、サントリーホール特有の“ヴィンヤード型”の客席構造によってホール全体に豊かに響き渡り、学生たちはその迫力と臨場感に思わず息をのんでいました。ある学生は身を乗り出して演奏に聴き入り、別の学生はオペラグラスで指先の動きまで追うなど、良質な演奏に心身ともに包まれるひとときとなりました。休憩時にはシャンパンやワイン、ソフトドリンクとともにクッキーが振る舞われ、まさに夢のような時間を過ごすことができました。豊田通商株式会社様、このような素晴らしい機会をいただき、本当にありがとうございました。

